

平成31年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（考古学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（　　）
出題の意図	問1において、考古学の研究を自ら進めるにあたって必要となる適切な資料の選択能力、方法論の運用能力、これまでの研究成果の理解度、論理的な思考と記述の能力を判断する。 問2において、考古学に関する基礎的な知識や概念にかかわる習得度を確認する。

平成31年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
(専門試験) 考古学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題1枚、解答用紙2枚を配付する。

問1 次の問題に解答用紙1枚程度の分量で解答しなさい。

石器組成研究と花粉分析による古環境復元の研究とにおける、方法論上の共通点と注意点について論じなさい。

問2 以下の〔旧石器〕～〔海外〕の5つのカテゴリーにふくまれているすべての用語について、それぞれ5行程度で説明しなさい。

- 〔旧石器〕 石刃技法
- 〔縄文〕 サケ・マス論
- 〔弥生〕 狹鋸
- 〔北海道〕 H317遺跡（札幌市）
- 〔海外〕 ナルイチエヴォ（Nalychevo）文化